



さんぽっぽ ～景観だより～ ～第38号(28.10)～



薩摩川内市のシンボル「川内川」



薩摩川内市の代表的な景観のひとつに、寺山公園から見た市街地の風景があります。市街地の中心を流れている川は一級河川川内川です。

川内川は薩摩川内市のシンボルといえます。その水源は熊本県の白髪岳(標高1,417m)で、熊本県・宮崎県・鹿児島県の3県にまたがり、川幅を広げながら東シナ海に注いでいます。東西に長い川の延長は137kmもあるそうです。

毎年募集している「私の好きな薩摩川内市の風景」絵画コンクールでも、川内川が多く描かれていますよ。



市章(市のマーク)にも川内川がデザインされています。



薩摩川内市の頭文字のSと川内川の形状を組み合わせたデザインで、緑は田園と山々の自然のやすらぎを、青は海、川、湖など水のうらおいを表しています。



知っていますか?

川内川にはたくさんの橋がかかっています。薩摩川内市にはいくつあるかみなさんは知っていますか?



倉野橋(くらのばし)



久住橋(くじゅうばし)



東郷橋(とうごうばし)



白浜橋(しらはまばし)



天大橋(てんたいばし)



太平橋(たいへいばし)



開戸橋(かいとばし)



新幹線と肥薩おれんじ鉄道の鉄橋



川内川大橋(せんだいがわおおはし)



川内河口大橋(せんだいかこうおおはし)



橋の名前が刻まれた橋名板

橋や川をひらがなで書く場合は、「〇〇ばし」と濁らず「〇〇はし」としています。《川の水が濁らず、美しくきれいであるように》との願いが込められているそうです。

